

源氏日記

3 回

歴史講座

平家物語



すばらしい歌だ。仏さんの歌声は心癒されるなんて言って……しかし仏御前は、そんなことで満足しませんでした。

今をときめく平家の入道相国さまのお召しにあずからないのでは、誰にちやほやされ

たつて、意味が無いらしいこと、ある日、西八条清盛の館を訪れます。

しかし清盛は会おうともしません。「仏だか神だか知らんが、召されてもおらんのにいきなり訪ねてくる者があるか！ 追い返せ！」

と、その時、横から祇王御前が「会ってあげたらよろしいじゃないですか。いきなり訪ねてくるのは遊びものの常です。年も若いのに。追い返したりしたらさぞカッコリするでしょう」

祇王は、自分も白拍子のため、仏御前の気持ちがよく分かります。自信にあふれているようでも、内心すくすくビクビクして、追い返されたらどうしよう、変な失敗をして怒らせたらどうしよう、という……祇王は自分がたどってきた道だけに、仏御前の今の気持ちがよくわかります。

「お召しなさい、手言ひなう……、」

「お召しなさい、手言ひなう……、」

「お召しなさい、手言ひなう……、」

「お召しなさい、手言ひなう……、」

「お召しなさい、手言ひなう……、」

「お召しなさい、手言ひなう……、」

「お召しなさい、手言ひなう……、」

「お召しなさい、手言ひなう……、」

「お召しなさい、手言ひなう……、」

「お召しなさい、手言ひなう……、」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」



「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」

「もえ出づるも枯るるも同じ 野辺の草 いつれか秋にあはで果つべき」